

JAきたみらい

おひさま サラダ

2014



vol.135

4

はいっ ポーズ!

《置戸地区・川南》

渡邊美和さんと蒼太くん・玲美ちゃん
(紹介は2ページです)

特集

「出向く購買」始動!
生産資材拠点センター落成



てん菜播種作業

季節の薫り



“三寒四温”のことわざとおり、春の訪れは気ままである。温かくなってきたと思えば急に寒くなったり、雪解けが進んだと思えば、ビュービュー吹雪になったり。空の神様は気難しい。

それでも春は一步一步近づいている。訓子府にある大型倉庫に一步、足を踏み入れれば、あたり一面少し懐かしい土の香りが漂う。訓子府町てん菜播種プラント利用組合等のみなさんが集まり、機械音が鳴り響くなか、息の合った手際良い流れ作業で、ビートの土詰めを行う。

繰り返される作業だが、ていねいな扱いが続く。本年が豊作でありますように。
(山内 庸平)



土詰め作業は総勢25人が2本のラインを役割分担しながらポットを完成させます。訓子府町てん菜播種プラント利用組合は平成18年に設立され、現在は163戸。構成員が中心となってポット作りを行います。ここで土詰めされたポットは町内のビート生産者69戸、360畝分になります。

もくじ CONTENTS

特集①	4
「出向く購買」始動！ 生産資材拠点センター落成	
○季節の薫り.....	2
○表紙紹介..... 「元気に仲良く」	2
○JAきたみらい ホットライン東西南北.....	6
○ほのぼの広場..... ・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・わが家のアイドル ・ブリティーウーマン ・大きくなったら ・元気な先輩 ・思い出の写真 ・まちがいきがし ・読者の声	10
○JAからのお知らせ.....	14
○おひさまサラダクッキング..... 「タケノコ&アサリ」飯 「焼き野菜と油揚げのポン酢あえ」	20

表紙紹介

元気に仲良く

春日和となった4月1日、渡邊さん宅を訪ねると、お父さんの健太郎さんと一緒に迎えてくれた蒼太くん(6)と玲美ちゃん(3)の二人兄妹です。

蒼太くんは小学校に入学したヒカピカの1年生。お絵かきや本が好きで、ドラえもんがお気に入りです。上手に描けた絵を見せてくれたり、自分の名前を漢字で書いてくれました。小学校では国語を習うのを楽しみにしています。

保育園に通う玲美ちゃんは「おままと」が好き。お兄ちゃんに負けずに元気いっぱい、普段から二人で仲良く遊んでいます。好きな食べ物も二人そろってイチゴが大好きという仲良しさんです。

最近はこの二人でプロレスごっこをして遊んでいるという蒼太くん(6)と玲美ちゃん(3)のお父さんとお母さんは「元気に仲良く育てたい」と話してくれました。

(高田 陽介)



【ご家族紹介】
前列左から～おじいちゃん(70)、蒼太くん(6)、おばあちゃん(68)の智子さん(68)
後列左から～お母さんの美和さん(32)と玲美ちゃん(3)、お父さんの健太郎さん(36)
渡邊さんは小麦、馬鈴薯、てん菜、スイートコーンなど約37畝を作付けしています。

特集

「出向く購買」始動！ 生産資材拠点センター落成

新たな事業展開 資材コスト低減へ期待

新たに開設された生産資材拠点センター。JA役職員や関係者など46人が出席し、盛大に修祓式が行われました。新たな店舗兼事務所と大型倉庫の整備に伴い「出向く購買」が始まり、資材コスト低減への期待が寄せられています。

(高田 陽介)

新資材センター披露

JAきたみらい購買部生産資材グループは3月25日、訓子府町駒里の旧ホクレンくみあい飼料(株)北見工場跡地に新たに生産資材拠点センターを開設、完成した店舗兼事務所と倉庫の修祓式を行いました。

当日はJA役職員やホクレン、工事関係者が出席し玉串奉奠が行われ、同JAの西川組合長から「現在の農業はTPPなどの厳しい環境下であり、国は強い農業、攻めの農業を推進している。当JAとしても購買事

業の拠点をここに設置し組合員のコスト低減を推進、当JAの発展とともに北海道農業の発展に寄与していく」と今後に大きな期待を込めて、力強く挨拶を行いました。

その後、参列者が見守るなかテープカットが行われ、新しい「生産資材拠点センター」が披露されました。

新たな事業展開

新たな資材の構想については平成24年にプロジェクトチームを発足。約1年かけて協議され、昨年の総代会で物流の拠点化と在庫の集約化・

体制の一元化による仕入先および価格の統一を図り、早期取りまとめ、肥料運賃の無料化、奨励金の見直し、指導購買により組合員の資材コスト低減およびJA利用率の向上と合わせて、事業改善に取り組むことを目的としています。

積極的に出向く

新たな体制での推進員は本年、3名からのスタート。積極的に出向く



▲(左から) テープカットを行う今成貴仁ホクレン北見支所支所長、西川組合長、北成建設株式会社の久島和俊代表取締役



▲記念すべき来店第1号の青年部の荒喜文前部長

ことにより①技術の提供②情報の提供③サービスの提供を担当することになり、平成27年には13名での体制を目指します。併せて現在の1センター8店舗を平成30年度までに1拠点センター4店舗に集約。また6月より、配送体制も見直され、肥料は庭先まで無料で配送され、この効果で組合員のコスト低減が約4千万円に及び、その他の集約も合わせると総額で2億7百万円を超える金額を組合員へ還元する計画となっています。さらに、新たな体制では、ネット通信を活用した受注システムの構築や店舗集約地域への緊急配送・定



▲品揃えを確認する坂下専務

期配送の実施、地域住民向けの園芸市を取り組む予定としています。本年より新たな人員体制へと移行していく購買部門。組合員の資材コスト低減や、集約により生まれるメリットを組合員へ還元。JA利用率の向上と、大幅な事業内容の改善に乗り出します。

組合員、利用者のみなさまには、大幅な変更で戸惑いがあるかもしれませんが、今後ともご利用いただきますようお願いいたします。



▲③旧工場(肥料・生産諸資材保管庫)



▲②新設の倉庫(農薬・肥料保管庫)



▲①新設の店舗兼事務所



温根湯

高収量
高糖度願い

～てん菜ポット苗
床並べ最盛期～



▲きれいに床並べを行う生産者のみなさん

温根湯地区では3月中旬、てん菜の播種済みポット苗の床並べが最盛期を迎えました。平里地区の東海林晃さんのビニールハウスでは3月20日、同地区内のビートプラントから運ばれてきた900冊のポット苗が並べられました。好天の中、ハウス内は温度が急上昇、初夏の暖かさのなか、手際よくトラックの荷台から降されたポット苗は、約100坪のハウスに1つ1つ整然と並べられ、久しぶりの力仕事に汗を流していました。作業は10人で行われ、1日ばかりで行われました。今後はハウスの中で育苗管理が進められ、5月に畑に移植されます。

東海林晃さんは今年、てん菜を約15畝作付予定しており、「今年も高収量、高糖度の出来秋を迎えたい」と話してくれました。

(中川 裕二)



▲株元に入れた灌水チューブの水量を確認する島崎さん

上常呂トマト生産部会の島崎敦さんは3月25日、ハウスに促成栽培のトマトの定植を行いました。島崎さんは平成22年に山梨県から北見へ転居、翌年、就農をめざし、端野地区の松澤裕一郎さんの元で1年間トマト栽培などの農業研修を行い、24年から上常呂地区・北上の農地を借りトマト栽培農家として営農を開始しました。今回行った定植は7棟のハウスのうち促成栽培する3棟、約300坪。用意されたトマトの苗は2月9日に播種し、3月5日に1株ずつポットに鉢上げされた「CFハウス桃太郎」約3000本。約25日に育った苗を1本ずつ丁寧に、隔離栽培用のヤシガラに定植し、5月下旬の出荷に向けて順調に作業を進めていました。島崎さんは「昨年は着果にムラが出て値段の高い時期に収穫が少なくなっていました」と昨年を反省し、「目標は確実に着果させること、反当10トの収量を確保したい」と今年の意気込みを力強く話してくれました。

(荒畑 正紀)

相内

せっけんを
きれいに装飾

～チョットした
贈り物におすすめ～



▲デコパージュ作りに励む会員のみなさん

きたみらいフレッシュミズ相内支部（小野剛美支部長）は3月18日、相内地区事務所で行った「せっけんデコパージュ作り」を体験しました。せっけんデコパージュとはきれいな柄などが入ったペーパーナプキンを糊でせっけんに貼り付け装飾するもので、参加した会員は自分好みのペーパーナプキンを持ち寄り、思い思いに市販のせっけんにデコレーションを行いました。思いのほか簡単にでき、会員たちにも大好評。歓送迎会などが多いこの時期、ちょっとした贈り物にもお勧めです。研修会終了後は、支部会を行い、活動予定を協議。夏に行う日帰り研修会の内容を再確認しました。

この研修会の様子は、JAきたみらい・フェイスブックにも掲載していますので、パソコン・スマートフォンで検索してみてくださいはいかがでしょう。

(辻本 均)

置戸

良品質で
歩留まり高く

～肥料散布に向け
施肥設計を行う～



▲説明を熱心に聞く参加者のみなさん

置戸町玉葱振興会青年部（中澤光太郎部長）は3月20日、置戸地区事務所で開催した栽培講習会を行い、部員7人が参加しました。同講習会は年3回計画され、今回は第1回目の開催。網走農業改良普及センターの石川専門普及員を講師に迎え、昨年学んだ肥料講習会を基礎として、今回は各自の圃場から採取された土壌の診断結果より施肥の設計を行うなど、施肥技術関係について学びました。参加した部員からは、これから始まる肥料散布に向けて施肥設計ということもあり、さまざまな質問や意見が活発に出されていました。次回以降は防除についての講習会や栽培試験などを計画しており、良品質で正歩留まりの高い玉葱を目指し、活発な活動を進めていくこととしています。

(酒井 沙織)

端野

植付に向け
種芋受渡し

～種芋コンテナ
1200基を準備～



▲手際よく渡される種芋を確認する生産者

端野町馬鈴薯振興会（島倉英一会長）と種子馬鈴薯生産組合（桜井慎一組合長）は3月26日より、端野地区の選果場施設で本年度の種芋受渡しを開始しました。

当日は、早出し馬鈴薯の生産者へ種芋が受け渡され、選果場の倉庫には早出用の種芋コンテナ約1200基を準備、リフトで手際よくトラックに積み、規格と数量を確認して受渡しされていました。

受渡しは4月10日まで行われる予定で、各農家に引き取られた種芋はハウスで芋切りや浴光催芽など、植付に向けた本格的な営農準備作業が開始されます。

端野地区における馬鈴薯の作付け面積は、食用で約430畝、加工用で約60畝、種子用で約100畝を予定しています。

（虻川 卓也）

北見

甘さに手応え
間もなく出荷

～越冬ねぎ
ブランド化めざし～



▲正品の基準を確認する生産者のみなさん

きたみらい野菜振興会茎葉部会は3月25日、市内とん田西町の竹中義一さんのハウスで越冬ねぎの「目ならし会」を行い、生産者と職員ら20人が参加しました。

当JA地域の越冬ねぎ栽培面積は80㌥で、11戸が生産しており、北見・旭川・釧路方面に出荷され、同部会では越冬ねぎのブランド化を目指しています。

収穫を目前に控え、越冬ねぎの出荷規格やダンボールへの詰め方について職員より説明を受けた後、実物を手に取りながら正品の基準を確認しました。

竹中さんは今年の出来について、「昨年よりも太めのものが多い」と期待を寄せるとともに、「加熱すると甘みが増して美味しいよ」とお勧めの調理方法を教えてくれました。

越冬ねぎの収穫は4月下旬まで続き、約17㌥の出荷が見込まれます。

（横田 佳織）

留辺蘂

早期播種へ
大事な作業

～融雪材散布
順調に進む～



▲力強く雪中を進むクローラートラクター

留辺蘂地区大富の7戸の組合員で構成される大富融雪は3月7日、融雪材散布作業を始めました。

この作業は融雪が遅く、春小麦や直播でん菜など早期播種が進む同地区で、欠かすことのできない大事な作業の一つです。

大富融雪は、昨年、散布機からクローラートラクターへ機械を更新。作業期間中に何度か降雪があったものの、従来に比べ散布効率が2～3倍向上したため、作業は順調に進み一日に20畝、約140畝への作業も3月中旬には終了しました。

代表を務める澤山一之さんは「収量増大に向けて早期播種・春作業の効率化はますます重要になってくる。機械更新は自己資金を投入した。ぜひ、その成果を示していきたい」と、意気込みを話してくれました。

（中野 孝祐）

訓子府

新規作物
本年より栽培

～さやいんげん
新産地に期待～



▲塩澤技監の説明を聞く参加者のみなさん

企画開発グループは3月28日、訓子府事務所でさやいんげんの栽培講習会を行い、生産者と職員ら10人が参加しました。

講師にホクレン野菜果実花き課の特任技監である塩澤幸二氏を招き、他産地の取組み等を交えながら、栽培技術についての全体的な説明を行いました。

さやいんげんはきたみらい管内ではJAの取扱いについて新規作物に位置付けられ、本年度より栽培がスタートします。

塩澤技監はさやいんげんの市場動向について、「引き合いが強く、良いものがたくさん求められている」と話し、「新しい産地に期待が寄せられているので、面積を伸ばし出荷を増やしてほしい」と話していました。

今年度のさやいんげんの生産者は訓子府で2戸、北見市で1戸、作付面積は14㌥になります。

（山内 庸平）

わが家のアイドル



端野地区・二区

すみれ
村中 純玲ちゃん(3ヶ月)

抱っこでござけん

取材当日、少しござけん斜めだったそうですが、伺った時には人見知りせず出迎えてくれた純玲ちゃん。最近はお父さんやお母さんがほっぺたや手足をいじると、笑顔で喜びます。

抱っこしているとござけんになってくれますが、床に寝かせるとぐずってしまう純玲ちゃんは、朝起きた時、何かつぶやいていることもあるそうで、「甘えん坊で寂しがりやかもしれません」とご両親は話してくれました。

お父さんの満さんが男3人兄弟ということもあり、女の子で初孫になる純玲ちゃんは、まさに村中家のアイドル。おじいちゃんやおばあちゃんがとてもかわいがってくれるそうです。

もう少しで寝返りをうてそうな純玲ちゃん。ご両親は、「純粋で、心がきれいでどんな人に対してもやさしくと願い、純玲と名付けました。将来、いろんなところに一緒に出掛けたりしたいですね」と話してくれました。

端野地区・二区の村中満さん、友美さん夫妻のお子さんです。
(蛇川 卓也)

Pretty Woman ウーマン



出会いは焼肉

北見地区・大和

米森 こそ恵さん(35歳)

今回はフレミズ副会長の米森さんに登場いただきました。
(小野寺 夢)

◆出身、ご主人との出逢いは？

北見出身です。私の実家も上仁頃の農家で、地元仲間で開催した焼肉で主人と出逢いました。小学生くらいまでの主人しか知らなかったんで、ほとんど「初めまして」状態でした。付き合い始めて1年後の2007年に結婚しました。

◆どんな家庭？

6歳と4歳の娘がいます。いつも笑いが絶えなくて、家の中はとっても明るいです！主人はよく子どもたちと追いかけてこや体を使って遊び相手してくれますが、先日は“子どもたち”が主人に絵本を読んであげていました(^▽^)

◆これからやりたいことは？

ずっとボルタリング（ロッククライミングの一種）やウォーキングに興味があったんですが、1月に仁頃山登山に挑戦しました！気分転換にもなり楽しかったので、今後も続けていければと思います。

◆今後の活動に対する抱負は？

今年度は副会長を務めますが、やっぱり支部長を引き受けた時とは違う緊張感や不安があります。でも他の支部の方と交流の輪が広がったり、役員を経験したからこそ得られたものもたくさんあると感じています。これから1年間でさらにいろいろなことを吸収して、視野を広げていきたいです。

ほのぼの 広場

きたみらいの

ホープさん



経営の安定を！

上常呂地区・常川

高木 利行さん(34歳)

●趣味は？

モトクロス（オフロードレース）

●好きな食べ物・嫌いな食べものは？

好き嫌いは特にありませんが、妻の手作りハンバーグは大好きです。

●理想の女性とは？

6年前に結婚しております。当然、妻です！本当です！

●農業で学び実感したことは？

小さな頃から手伝っていましたが、就農しあらためて植え付けや収穫時期の忙しさや、悪天候には苦労しました。

●今後の抱負は？

5年ほど前から規模を拡大していますが、まずは既存の畑で収量増加を図り経営の安定を目指すとともに、どんどん規模拡大に取り組んでいきたいです。

(荒畑 正紀)

利行さんは水田・玉葱・畑作複合経営の初男さんユキ子さんの長男で、昨年の5月にUターン就農しました。

Q結婚のきっかけは？ご結婚はいつでしたか？

2人とも高校でバドミントン部に所属していた、高校時代から交際がスタートし、平成10年に結婚しました。

Q趣味は？

淳治さん……お酒とスキーです。

亜紀さん……愛犬のお世話とテレビを見ることです。

Qこれからしたいことは？

家族で沖縄か海外に旅行に行きたいと思っています。

Qお互いへの感謝の言葉

淳治さん……家事・農作業に苦労をかけますがいつもありがとう。感謝しています。

亜紀さん……仕事を一生懸命してくれてありがとう。これからも身体に気をつけてがんばってください。

(中川 裕二)

愛犬のモコちゃんを挟んで撮影



ながよし夫婦

家族で旅行に行きたい

温根湯地区・昭栄

森 谷 淳 治さん(37歳)
亜 紀さん(36歳)

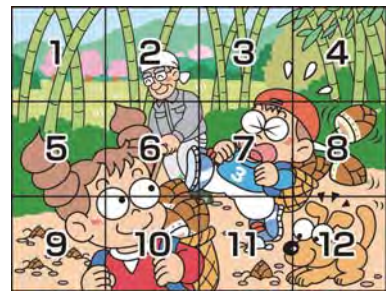
まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



3月号「まちがいさがし」の当選者

3月号のまちがいさがしの答えは「1、3、6、10、12」でした。正解者 52名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。おめでとうございます。

()内は地区名

- ・藤谷 秀子さん(温根湯)・荒 えみ子さん(留辺蘂)
- ・高橋百合子さん(相 内)・森脇 未侑さん(置 戸)
- ・木村 裕美さん(訓子府)・山田恵美子さん(訓子府)
- ・大類沙耶花さん(北 見)・斉藤 陽菜さん(北 見)
- ・木村 芳江さん(上常呂)・會田 悦子さん(端 野)

以上の方々には、端野 志賀甘栄堂の「のんたのほっぺ」をプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、大丸(北見)の「ほっちゃんれ」をプレゼントします。

元気な先輩

留辺蘂地区・大富

飯田 広幸さん
(67歳)



まだまだこれから！

広幸さんは昭和21年に、留辺蘂町の農家の次男として生まれました。地元中学校卒業後は北見に移り住み、電気工事の会社に勤めていました。4年半勤めた後、実家の収穫作業を手伝う機会があり、そこから本格的に農業に携わっていくこととなったそうです。

就農当時はてん菜、馬鈴薯、秋小麦、豆、エン麦などを5畝ほど作付けしており、冬には馬をつれ山仕事にも励んでいたそうです。数年後には玉葱の作付けを始め、トラクターを導入し、現在の経営の礎を築いていきました。

今までの農作業で印象に残っていることについて、「丹精込めて育てた玉葱に値が付かず、泣く泣く畑にすき込んだことが一番残念だった。当時玉ねぎ振興会の役員をやっていたこともあり、その作業は最も長く感じた一日だった」としみじみ語ってくれました。

経営移譲した現在でも、農作業にバリバリ励む広幸さん。今後について尋ねると、「農業もまだまだ出来るし、海外旅行にもいきたい。孫のサッカーや吹奏楽を見に行くのも楽しみだし、人生はまだこれからだね」とにこやかに話してくれました。(中野 孝祐)

ほのぼのの広場

大きくなったら



北見地区・美里

阿部 有希(ゆき)ちゃん(8歳)

牛屋さんに！

わたしは牛がすきなので、大きくなったら牛のお世話をしたいです。

牛の搾乳も、お父さんに教わりながらできるようになりました。

お父さんとお母さんといっしょに牛舎のお手伝いをするのがたのしいです。

阿部祐一さん、佑子さん夫婦の長女です。にこにこ笑顔でお話してくれました。取材中も弟の由空(ゆうすけ)くん(9ヵ月)の面倒をみてあげる優しいお姉ちゃんです。

(横田 佳織)

思い出の写真

この写真は、当時、伸介さんの呼びかけで結成された朝野球チーム「相内フィリーズ」が試合に勝利した際、撮影された一枚です。

プロ野球観戦が大好きだった伸介さんは、同級生を中心に声をかけ、なんとか10人のメンバーを集め(引きずりいれ)、当時、北見市では朝野球が全盛期のなか昭和56年「相内フィリーズ」は誕生しました。とはいっても、ほぼ全員が野球経験がろくにない状態。見るのとやるのは大違いで、初戦は、野球の形にすらならず惨敗。めげるものかと、3年もの猛練習?の末に、安定して1回戦は勝ち抜けるようになっていきました。

伸介さんは「何が一番辛かったかというと、試合当日にメンバーを9人集めること。とにかく早起きが苦手なやつが多く、そいつらの寝室まで行って布団をひっくり返しても起きないので手こずった」と笑いながら、当時の青春時代を話してくれました。

(中野 孝祐)



▲前列の左から2番目が当時の伸介さんです。

朝が大敵！朝野球チーム結成

相内地区・西相内

辻本 伸介さん(56歳)



なかなか暖かくななくて、孫の入学式までに雪とけるかな…。

(匿名希望)

3月の北見は暖かかったり、雪が降ったりと忙しい天気でした。雪解けが進み、晴々とした入学式になるといいですね！

家の越冬ホウレン草がもう少しで食べられます。甘くておいしいです(^ ^)

(温根湯地区・大関 博子さん)

寒さを耐えて育った野菜って本当に美味しいですね。越冬ホウレン草、私も食べたいです！

つという間のこの冬でした。1月は行ってしまった、2月は逃げてしまった、3月はすぐ去ってしまう、3月になると思い出言葉です。

(温根湯地区・長谷川 和子さん)

本当にその通りの言葉ですよ。歳を重ねるほど早くなる気がします。きっとそれだけ充実しているということでしょうね。

回の「思い出の写真」は親しい方で、同じ世代なので、色々な想いで拝見させていただきました。これからも「思い出の写真」楽しみにしています。

(匿名希望)

昔の写真はその当時の出来事だけでなく、その頃の想いまで思い出させてくれるので、いいですよ。今後とも期待ください！

JAからの お知らせ

INFORMATION



▲ 植生管理の重要性を訴える大塚専任技師

きたみらい酪農振興協議会（伊藤 稔会長）とJAきたみらいは、3月18日、酪農セミナーを開き、組合員や職員、関係機関など約80人が集まりました。今回の酪農セミナーでは、ホクレン農業協同組合連合会飼料部の大塚博志主任技師、竹田芳彦主任技師を講師に招き、「植生改善の取組み及び高栄養価粗飼料の生産について」と題して講演が行われました。開会では坂下専務が「品質の高い飼料生産によりコスト削減、経営のさらなる向上をめざして欲しい」と挨拶。大塚技師は「植生改善の成果が蓄積されている。成功例を参考に積極的に挑戦してほしい」とエールを送りました。

（山内 庸平）

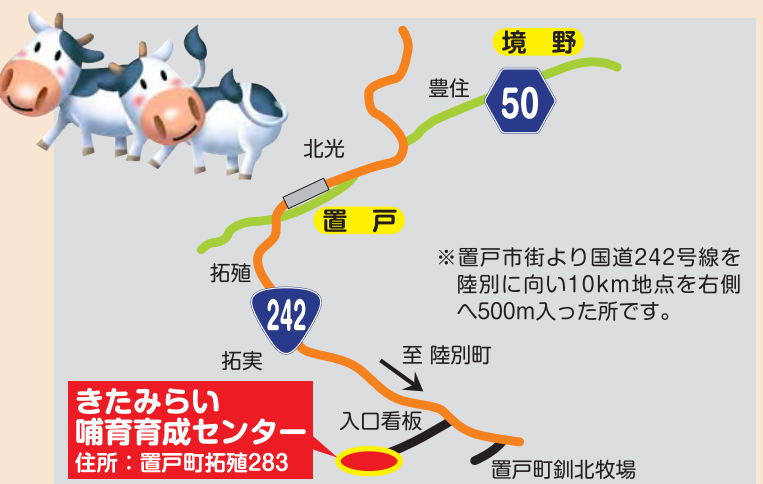


▲ 説明を熱心に聞く参加者のみなさん

きたみらい酪農セミナー

良質飼料の生産を

高品質・コスト低減をめざす



きたみらい哺育育成センターでは有料にて堆肥を販売します。条件はきたみらい哺育育成センターまで取りに来ていただける方が対象となります。（積み込み時のタイヤシヨバルはお貸しします）

余剰堆肥の販売について

きたみらい哺育育成センター

- 価格は1ト当たり1,000円となります。（本体926円＋消費税74円）
- お渡し時期は5月25日～6月5日（申込受付5月1日～20日）
10月20日～30日（申込受付9月25日～10月15日）
- 育成牛の堆肥ですがまだ、未熟状態です。
- 年間販売見込数量1,000ト
- 分析値

水分	pH	EC	T-N%	P	K
88.17	8.58	7.53	0.31	0.183	0.345

購入を希望される方は電話にて申込願います。なお数量に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

販売企画部畜産グループ 電話：47-4829



▲ 10年間の想いが詰まった記念誌

きたみらい玉葱振興会青年部は（杉山幸治部長）は3月18日、センター事務所にて「設立10周年記念式典」を開き、現役員や歴代部長、事務局など関係者93人が出席しました。同青年部は、平成15年4月に玉葱振興会の下部組織として、地域内玉葱の生産振興及び、栽培技術について各地区への情報提供を図ることを目的に設立しました。

杉山幸治部長は「きたみらい玉葱振興会青年部をゼロから築いてこられた歴代の部長・役員の方々は、苦勞されたかと存じます。今後、20



▲ 挨拶をする杉山幸治玉葱振興会青年部部長

年、30年と長い歴史を歩むなかで、これからの若人のための青年部として邁進していきたいと思います」と挨拶を行いました。

きたみらい玉葱振興会の古屋和徳副会長は「この10年間の気象変動は激しいものだったが、挫折することなく、むしろこの状況をテーマとして試験・研究へ取り組んできた成果は、きたみらい玉葱のブランド形成に大きく貢献している」と話し、同青年部の活動内容を称賛しました。



▲ 感謝状を贈られる宮下尚樹初代部長（左）

式典では、歴代の部長4人に、杉本部長から一人ひとりに感謝状が手渡され、歴代部長を代表して、初代部長を務めた宮下尚樹玉葱振興会副会長は「設立当初から続いている交流会を通して、今後も部員間の意識を高めていってほしい」と激励の言葉を贈りました。

また、同青年部は、設立10周年を記念して、記念誌を250部発行し、部員や各関係者に配布されました。

（中野 孝祐）



▲ 称賛の言葉を贈る古屋和徳玉葱振興会副会長



▲ 式典に集まった93人の関係者のみなさん

10年の節目を祝う

きたみらい玉葱振興会青年部

- | | | |
|---------------|-------|------|
| きたみらい玉葱振興会青年部 | 初代部長 | 宮下尚樹 |
| | 二代目部長 | 森谷弘二 |
| | 三代目部長 | 榎山敦史 |
| | 四代目部長 | 福田裕治 |

平成26年度
新規採用職員の紹介

本年度新規採用された9名の職員を紹介します。組合員みなさん、お世話になります。よろしくお願い致します。総務企画部付9名の配属先については1ヶ月間の研修終了後正式に決定されます。

①生年月日 ②出身校 ③趣味・特技 ④抱負



総務企画部付
いしい むつみ
石井 睦美

①平成4年1月9日
②帯広畜産大学
③サイクリング、書道
④大学では農業について学んでいましたが、実際の現場では知らなかったことが沢山出てくるといいます。早く組合員の皆様のお役に立てるよう、積極的に学ぶ姿勢を常に忘れないことが目標です。私の長所は明るく、へこたれないところです。笑顔第一で明るく元気に頑張っていきますので、よろしくお願い致します。



総務企画部付
なかがわ ゆうと
中川 佑人

①平成3年12月23日
②帯広畜産大学
③映画鑑賞、ギター
④私は農協職員として地元である北見に貢献できるよう一生懸命に努力していきたいと思っております。組合員の皆様に早く顔を覚えてもらえるよう、笑顔を忘れず業務に努めて参ります。至らないところも多々あると思いますが、精一杯精進いたしますのでよろしくお願い致します。



総務企画部付
さくた あやね
作田 彩音

①平成3年10月23日
②北星学園大学
③剣道、ギター
④農業の知識はありませんが、いち早く組合員の皆様の力になれるように日々努力し、成長していきたいと思っております。何事にも好奇心をもって挑戦し、地元であるきたみらい地域の発展に貢献したいです。精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



総務企画部付
もいすみ ちひろ
茂泉 千裕

①平成4年6月9日
②北海道武蔵女子短期大学
③映画・ミュージカル鑑賞
④農業に関する知識も勉強もまだまだ足りていないですが、自他共に認める真面目さと大学で学んだことを活かして地域のお役に立ちたいと考えています。一日でも早く一人前になれるよう、笑顔で素直に精進していきますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



総務企画部付
はしもと ひかる
橋本 光

①平成6年7月11日
②JAカレッジ
③映画鑑賞、ラグビー
④私はJAカレッジで1年間、農業やJA事業を学んできましたが、本当に基礎中の基礎なので、入組してからもう上心、吸収力を忘れず、まだ右も左も分からないですが、少しずつ成長し、いつしか人財と呼ばれるように頑張りますので、皆様、ご指導のほどよろしくお願い致します。



総務企画部付
さかもと しゅんや
坂本 竣哉

①平成4年2月8日
②帯広畜産大学
③テニス、野球観戦
④私は仕事への積極性を大切に、まず行動を起こせるようなフットワークの軽い農協職員になりたいと考えています。1日も早く仕事を覚え、誠心誠意業務に取り組み、地域農業に貢献できるように努力致しますので、皆様、ご指導のほどどうぞよろしくお願い致します。



総務企画部付
まつおか ちさと
松岡 千里

①平成8年3月17日
②北見商業高校
③読書、電卓
④私は多くの点について勉強不足ですが、様々な業務の中で多くのことを学んでいきたいです。そして、組合員、職員、地域の方に信頼をおいてもらえるような職員となっていきたいです。一日も早く皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



総務企画部付
かただ もえか
堅田 萌花

①平成6年3月12日
②北海道武蔵女子短期大学
③喫茶店巡り
④私は、組合員様に寄り添った業務をしていきたいです。そのために、明るく元気な対応を心がけていきます。爽やかな挨拶、明るい笑顔を持って、組合員さんの話をしっかり聞き、はっきりとした話し方で対応していきます。まだまだ未熟ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。



総務企画部付
さわやま ゆうき
澤山 優希

①平成5年12月21日
②北星学園大学短期大学部
③音楽鑑賞（吹奏楽）、雑貨収集
④私は幼い頃から農業に触れる機会があり、両親の後について手伝っていたことがありました。そして、JA職員として組合員の皆様のために働かせて頂くことになりました。持ち前の元気で積極性で頼りになる立派な職員になりたいと思っております。組合員の皆様、ご指導のほどよろしくお願い致します。

新規採用・退職のお知らせ



吉村 清治
(営農振興部
企画振興
グループ)

・S47.4 留辺薬町農協入組
・H15.2 留辺薬支所
営農課課長
・H21.6 営農振興部企画振興グループ
マネージャー

■在職期間 42年
※退職者再雇用制度により在職



芳賀 英敏
(購買部)

・S52.9 訓子府町農協入組
・H15.2 訓子府支所
金融共済課課長
・H18.3 訓子府支所次長
・H20.4 訓子府支所支所長
・H21.6 組合員ふれあい室ふれあい相談4グループマネージャー
・H23.5 購買部 部長

■在職期間 36年



斉藤 正幸
(販売企画部
玉ねぎグループ)

・S54.4 上常呂農協入組
・H15.2 上常呂支所
販売施設係係長
・H21.6 販売企画部玉ねぎグループ

■在職期間 34年
※退職者再雇用制度により在職



小林 晃
(販売企画部
組織振興東
グループ)

・S54.6 端野町農協入組
・H15.2 端野支所
生産資材課給油所係係長
・H21.6 営農振興部担い手育成グループ
・H23.4 営農振興部企画振興グループ
・H23.5 販売企画部農産グループ
・H24.6 販売企画部組織振興東グループ

■在職期間 34年

退職者を
お知らせ致します

平成26年4月1日付で職員の退職となりましたのでお知らせ致します。

在職中は、組合員皆様を始め、地域皆様の御厚情をいただき誠にありがとうございました。

なお、退職にあたり旧JA入職年度と合併後の職歴、正職員としての在籍期間(旧JA含む)をご紹介します。



富永 義明
(購買部
燃自東エリア)

・S48.4 北見市農協入組
・H15.2 北見支所
生産資材課課長
・H18.6 端野支所
生産資材課課長
・H21.6 購買部燃自東エリアマネージャー

■在職期間 40年



片桐 時江
(購買部
資材西エリア)

・S47.4 相内農協入組
・H15.2 相内支所
生産資材課生産資材係
・H21.6 購買部資材西エリア

■在職期間 42年



新井 元美
(販売企画部
玉ねぎグループ)

・H5.3 温根湯農協入組
・H15.2 温根湯支所
営農課営農係係長
・H16.4 温根湯支所販売課施設係
・H21.6 販売企画部玉ねぎグループ

■在職期間 21年
※退職者再雇用制度により在職



渡辺 善一
(販売企画部
玉ねぎグループ)

・S56.7 留辺薬町農協入組
・H15.2 留辺薬支所
販売課農産係係長
・H21.6 販売企画部玉ねぎグループ

■在職期間 32年
※退職者再雇用制度により在職

INFORMATION

第2回 理事会報告

3月24日、午前10時より第2回定例理事会が開催され、報告事項13件、議決事項10件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①平成25年度独立監査人の監査報告書について
 - ②平成25年度期末定期監査報告について
 - ③資材センターへの移管に伴う実施棚卸監査について
 - ④組合員状況報告について
 - ⑤財務状況報告について
 - ⑥平成25年度キャッシュフロー計算書について
 - ⑦人事の発令について
 - ⑧交換耕作希望者とりまとめ結果について
 - ⑨議会に対するT P P交渉等国際貿易交渉に係る意見書の提出依頼について
 - ⑩平成25年度産玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
 - ⑪平成25年度てん菜本精算について
 - ⑫飼料用米に対する取組みについて
 - ⑬その他

- 【議決事項】
- ①出資減口及び持分譲渡について
 - ②定款・諸規定の改正について
 - ③外部出資の増口について
 - ④当組合との利益相反取引に係る取扱いについて
 - ⑤平成26年度役員報酬における理事・監事報酬総額の配分について
 - ⑥平成26年度給与の改定について
 - ⑦冬期地区別懇談会Q & Aについて
 - ⑧第4次地域農業振興方策並びに中期経営計画（案）について
 - ⑨平成25年度余剰金処分（案）について
 - ⑩第11回通常総代会提出議案について

JA車検のWチャンス

きたみらい購買部燃料自動車グループでは3月10日、センター事務所で「2013車検キャンペーン“Wチャンス”抽選会」を行い、西川組合長はじめ常勤理事が抽選を行いました。抽選は今年度の車検数638台を対象に行われました。

キャンペーンではJA車検利用者に1%20円引きの給油割引チケットが250%分、紹介者に125%分がプレゼントされました。今回Wチャンスとして車検利用者を対象に1等「3万円の旅行券」を5人、2等「1万円の旅行券」を10人、計15名の方へプレゼントしました。

旅行券キャンペーンは本年も行われますので、ぜひご利用頂きますようお願い致します。



▲抽選を行った坂下専務(左)と西川組合長(右)



▲子どもたちの笑顔いっぱいの文集と手紙



(丸山 恵理)

先月のおひさまサラダでご紹介した、地産地消と食育活動の一環として行っている1市2町の給食センターへの玉葱と馬鈴薯の贈呈。幼稚園や小学校からは、喜んで給食を頬張る笑顔の写真や、JA・生産者への感謝の手紙が届いています。

端野小学校からは、JAきたみらいが提供した玉葱・馬鈴薯を使用し、作られたカレーライスを美味しくうに食べる子ども達の写真と児童からのメッセージでいっぱいの子集が届きました。また、給食中に流れる

児童・園児から感謝の声

給食センターへの芋・玉贈呈にお礼

『お昼の放送』では当JAで作った「スノーマーチのうた」を流し、全校にスノーマーチを紹介してくださいました。

置戸町こどもセンターどんぐりは、給食の材料としてだけでなく、年長の園児たちの『クッキング』でも使用し、野菜の皮むきや包丁を使う体験にも一役かっただけです。

このように、地元の食材を食べたり、調理体験に使用することで、小さな頃から野菜を好きになるきっかけになるだけでなく、地元農業や食の大切さについても感じてもらえたら嬉しいですね。

今年も春の出前授業と秋の玉葱と馬鈴薯の選果場を案内する施設見学を行います。JAとしても、もっと地元の農業・農産物を知ってもらえるような食育活動・地産地消活動に積極的に取り組んでいきます。

食の大切さを教えたい

1市2町の小学校 26校に教材本を贈呈

JAきたみらいは3月13日、北見市・訓子府町・置戸町の小学校25校と特別支援学校1校に食農教育・環境教育・金融経済教育用の教材本1287冊を贈りました。

同事業は、JAバンクグループの資金で創設された一般社団法人「JAバンクアグリ・エコサポート基金」が平成20年から、全国の子供たちに向けて食・環境等と農業のつながり意識し、農業への理解を深めるきっかけになることを願い補助教材本を作成し、全国のJAバンクから全国の小学校に贈呈されており、今年で7回目となります。

教材本は全国共通で、小学5年生を中心とする高学年の授業で活用さ



▲北見市の佐藤教育長(右)に教材本を渡す佐藤常務(左)

れることを目的に作製され「農業とわたしたちの暮らし」と題して、イラスト・写真・グラフをふんだんに使いながら、私たちの生活に欠かせない「食」と「農業」、また「環境」と「農業」の密接な関わりなど理解を広げていくことを狙いとし、社会科を中心に総合的な学習、家庭科などの内容が取り入れられています。また本年、北見市常呂町のホタテ貝殻で作った石灰肥料なども題材の一つとして紹介されています。

教材本を活用した児童からは『いただきます』と『ごちそうさま』の意味を読むと、こんなに食べものは大事なんだと、食べ物大切さを感じました。これからも、この言葉を忘れずにあいさつしたいと思っています。この感想文も寄せられています。

この日、北見市教育長を訪れた当JA佐藤常務は「JAでは教材だけでなく、他にも食育事業を行っています。様々な場面でお手伝いさせていただきます」と話し、佐藤宣秀北見市教育長は「様々な学習等で活用させていただき、食の大切さを教えていきたいです」と期待を寄せていました。

(荒畑 正紀)

レベルアップに期待

オホーツクJA窓口セールスコンクール

JA北海道信連北見支所は3月26日、オホーツクJA窓口セールスコンクール本選会を開き、予選から選ばれた5JA・10名が参加、各自の実力を発揮しました。

同コンクールは新規利用者の獲得や組合員を中心とした顧客、地域の利用者への金融サービス提供、利用者満足度の向上などを図る取り組みとし本年初めて開催。3月14日と17日の2日に分けて予選を実施し、当JA3名を含め、成績上位の10名が本選会へと進みました。

同コンクールは「貯蓄推進部門」と「年金推進部門」に分かれてロープレイング方式で実施。参加者は



▲年金推進部門で最優秀賞に輝いた柴山職員

約10分間、与えられた状況設定のなか、来店客からの依頼に基づく事務処理や商品の推進を行い、言葉使いやニーズの収集・提案力などの12項目で採点が行われました。10名の出場者は緊張しながらも笑顔で、日頃の業務で身につけたスキルや個性を発揮。分かりやすく丁寧な、適切な説明や提案を行っていました。

競技終了後、結果発表と表彰式が行われ、貯蓄推進部門では当JA留辺蘂支店の青木直美職員が優秀賞。年金推進部門では上常呂支店の柴山弘美職員が最優秀賞に輝きました。柴山職員は「今回の機会を通して様々なことが勉強になりました。この経験を業務に活かしていきたいです」と受賞の喜びを語りました。

北海道信連の飯澤英二JAバンク推進部長は「平成27年には全道コンクールを開催する予定です。高いレベルで競っていただきJAバンク各店のレベルアップにつながっていくことを期待します」と来年以降の取り組みと今後への期待を話していました。

(荒畑 正紀)



【材料：4人前】

米	……………2合	調理水	
ゆでタケノコ	…100g	だし汁	……………カップ2
アサリのむき身	…80g	酒	……………大さじ1
昆布	…3cm角を1枚	みりん	……………大さじ1
		しょうゆ	……………大さじ1
		塩	……………小さじ1/2
		木の芽	……………5〜6枚

タケノコ&アサリご飯

【エネルギー310kcal(1人分)】

【作り方】

- ①米をとぎ、浸水してから、ざるにあげておく。
- ②タケノコは縦半分に切り、穂先の方は5mm程度の細切り、根元の堅い部分は縦千切りにする。
- ③アサリはサッと洗いを水で切っておく。
- ④炊飯器に米・昆布・タケノコ・アサリ・調味水の材料を入れて炊く。
- ⑤炊き上がったら昆布を取り出し、大きくかき混ぜてから器に盛り、木の芽を散らす。

メモ

春といえばタケノコ。「筍」という漢字は、まさに竹の旬を表しています。そしていつでも手に入るアサリですが、旬は春と秋。特に春は産卵を控え、身が肥えてとてもおいしい季節。タケノコの香りとしゃきしゃきの食感に、アサリのうま味がたっぷり詰まった炊き込みご飯をお楽しみください。



【材料：2人前】

グリーンアスパラガス	……………4本
パプリカ	……………1/2個
エリンギ	……………2本
油揚げ	……………1枚
ポン酢	……………大さじ1

焼き野菜と油揚げのポン酢あえ

【エネルギー70kcal(1人分)】

【作り方】

- ①アスパラガスは根元の堅い部分だけ皮をむく。
- ②パプリカは種を除き縦半分に切る(1/4の大きさ)
- ③エリンギは縦半分に切る。
- ④温めた魚焼きロースターでアスパラガス・パプリカ・エリンギ・油揚げを中〜強火で焼く。
- ⑤アスパラガスとエリンギは転がしながら、少し焦げ目が付くまで焼く。パプリカは皮の面だけを黒く焦げるまで焼き、温かいうちに手で薄皮をむく。油揚げは両面に少し焦げ目が付くまで焼く。
- ⑥⑤を食べやすい大きさに切り、ポン酢であえる。

メモ

旬のみずみずしいグリーンアスパラガスを焼くと、凝縮した甘味に香ばしさが加わり、ゆでたときとはまったく違う味が楽しめます。パプリカは皮の面だけを黒く焦がすと、手で簡単に皮がむけ、こちらも甘さとこくが抜群です。魚焼きロースターで一度に焼けるので、忙しいときにはうれしい一品です。

編集後記

- ・3月はいきなり雪が降ったり、暖かい日が続いたり、忙しい天候となりましたが、やっと雪解けも進み始め、春を感じられるようになりました。
- ・皆さんは4月からの消費税増税に伴い、あれこれ購入していませんか？私は日用品や電気製品を買ってしまい、サイフの中はきびしい状態になっています。お金は計画的に使いましょう。
- ・また、春は節目の季節。当JAにもフレッシュな顔が増え、1年前緊張しながら出勤した日のことを思い出しました。初心を忘れずにまた1年頑張りたいと思います。(丸山 恵理)

JAきたみらい概要

(平成26年3月17日現在)

- ・組合員数(正) 1,765人
- ・組合員数(准) 5,793人
- ・組合員戸数(正) 1,158戸
- ・貯金 101,618百万円
- ・貸出金 17,997百万円
- ・出資金 5,019百万円